

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2020年9月25日
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

都市型コンパクトタウン

都市再生・地方創生

グローバルへの取組み

不動産テック

働き方改革

健康・介護ニーズ

社会課題

定期報告・レポート

経済産業省『超高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）実証事業^{※1}』及び 環境省『高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）支援事業^{※2}』に 合計 3 プロジェクトが採択決定

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：宮嶋 誠一）は、経済産業省『超高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）実証事業』に「プラウドタワー亀戸クロス ゲートタワー」が、さらに、環境省『高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）支援事業』に「（仮称）神楽坂袋町計画」及び「（仮称）武蔵浦和駅前計画」が採択されましたのでお知らせいたします。

※1 令和2年度省エネルギー投資促進に向けた支援補助金のうち超高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）実証事業

※2 令和2年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金のうち高層 ZEH-M（ゼッチ・マンション）支援事業



「プラウドタワー亀戸クロス」完成予想パース

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

■採択されたプロジェクトの概要

「プラウドタワー亀戸クロス」 ※採択はゲートタワーのみ

所在地	東京都江東区亀戸六丁目
交通	JR総武線「亀戸」駅 徒歩2分
総戸数	934 戸（うち、ゲートタワー452戸）
階数	地上25階 / 地下2階
敷地面積	22,989㎡
延床面積	96,776㎡（うち、ゲートタワー42,393㎡）
着工	2019年6月
竣工	2022年1月（予定）

「（仮称）神楽坂袋町計画」

所在地	東京都新宿区袋町
交通	都営大江戸線「牛込神楽坂」駅徒歩3分、東京メトロ東西線「神楽坂」駅徒歩7分 東京メトロ南北線・有楽町線「飯田橋」駅徒歩6分、JR総武線「飯田橋」駅徒歩8分
総戸数	75 戸
階数	地上5階 地下1階
敷地面積	2,841㎡
延床面積	9,888㎡

「（仮称）武蔵浦和駅前計画」

所在地	埼玉県さいたま市南区沼影一丁目
交通	JR 埼京線・武蔵野線「武蔵浦和」駅徒歩 1 分
総戸数	277 戸
階数	地上19階 地下1階
敷地面積	5,986㎡
延床面積	37,615㎡（店舗・事務所等含む）

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

■環境性能と健康・快適を両立する「床快 full（ゆかいふる）」

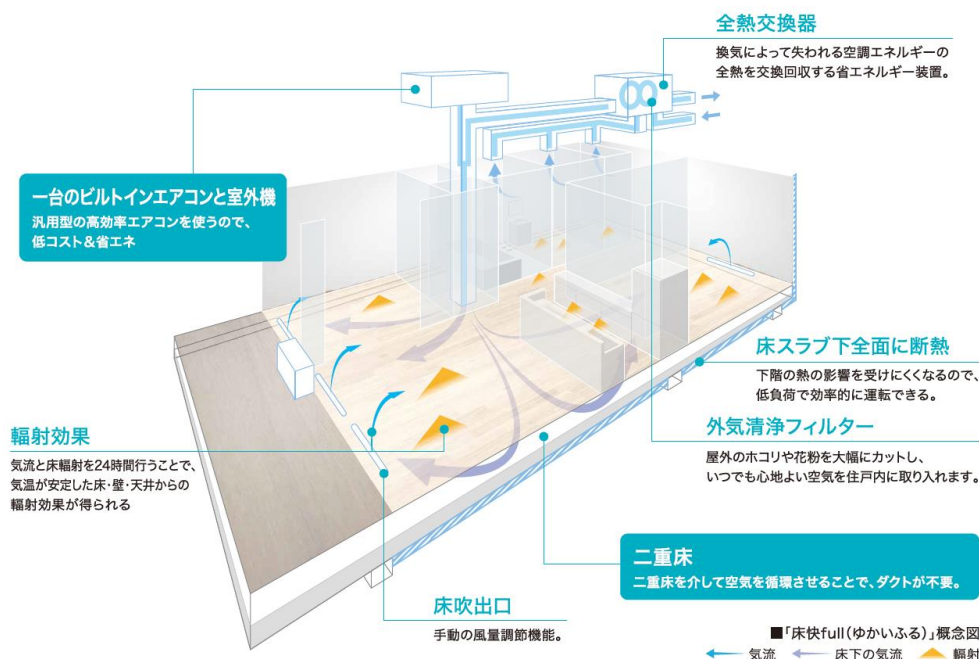
ZEH-Mの省エネ性能を実現するため、今回採択された3プロジェクトには、「床快 full（ゆかいふる）」を採用しています。

「床快 full（ゆかいふる）」は、二重床を冷暖房に利用して住戸全体にエアコンの風を送ることで、24時間365日、住戸全体を快適に保ち、ヒートショックや熱中症のリスクを軽減する等健康維持に寄与します。

また、外出時には、通常より設定温度を緩和したモードでの運転を併用することで、省エネで快適性を維持し、エネルギー効率を高めた暮らしを実現します。

当社では、分譲マンションのCO2削減への取組みの一環として、2019年より導入を開始しました。

<床快 full（ゆかいふる）概念図>



※ブラウドタワー亀戸クロスおよび（仮称）武蔵浦和駅前計画における概念図。（仮称）神楽坂袋町計画は採用システムが異なります。

<暮らしを豊かにする床快 full（ゆかいふる）のメリット>

MERIT 1 空気の流れが穏やか。 	MERIT 2 床まで快適な温度だから冬でも薄着で大丈夫。 	MERIT 3 ヒートショックや熱中症も予防。 	MERIT 4 温度差が生まれにくい廊下も心地よくて快適。
MERIT 5 空気がキレイでホコリが少なく掃除もラクラク。 	MERIT 6 空気の流れが穏やかな静音設計。 	MERIT 7 「省エネ」でお財布にやさしく快適もそのまま。 	MERIT 8 つけっぱなしで温度変更もほとんど不要な簡単操作。

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

<参考資料>

「超高層 ZEH-M 実証事業」、「高層 ZEH-M 支援事業」の採択要件について

高層（6 階建以上）マンションでは、太陽光発電の設置に活用できる屋根面積が限られており、ZEH の基準をクリアすることは非常に困難です。そこで、まずは ZEH 志向型の集合住宅の普及に向け、太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の搭載などの創エネを除く、高断熱外皮や省エネ性能で ZEH 基準を満たした住宅について、2018 年度よりあらたに定められた制度が「ZEH-M Oriented」であり、「超高層 ZEH-M 実証事業」、「高層 ZEH-M 支援事業」は、ZEH-M Oriented の水準を満たすことが要件となります。

<ご参考> 集合住宅における ZEH の定義・判断基準

住棟での評価					住戸での評価				
	外皮断熱性能 ※全住戸で 以下を達成	省エネ率 ※共用部を含む 住棟全体で 以下を達成		目指すべき水準		外皮断熱性能 ※当該住戸で 以下を達成	省エネ率 ※当該住戸で 以下を達成		
		再エネ除く	再エネ含む				再エネ除く	再エネ含む	
『ZEH-M』	強化外皮基準 (ZEH基準)	20%以上	100%以上	3階建て以下	『ZEH』	強化外皮基準 (ZEH基準)	20%以上	100%以上	
Nearly ZEH-M			75%以上		Nearly ZEH			75%以上	
ZEH-M Ready			50%以上	4・5階建て	ZEH Ready			50%以上	
ZEH-M Oriented			(再エネ不要)	6階建て以上	ZEH Oriented			(再エネ不要)	

今回対象

(集合住宅におけるZEHロードマップフォローアップ委員会「集合住宅におけるZEHの設計ガイドライン」より引用)

※ZEH 及び ZEH-M とは

「外皮の断熱性能等を大幅に向上させ、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現し、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅」です。